

岐阜新聞真学塾

出題 蜚雪ゼミナール

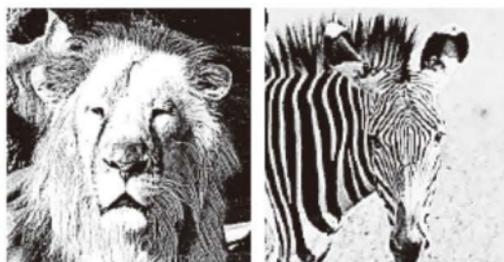
安井校・倉藤秀昭



毎日頑張っている皆さんに、活力を与えられるような記事を書いていきます。

問題【理科】

AとBの写真を見て、次の問いに答えなさい。



A

B

(1) 立体的に見える範囲が広い動物は、AとBのどちらですか。

(2) AとBそれぞれの動物を何とといいますか。〇〇動物という名称で答えなさい。

(3) 食物の種類や食べ方がネコと同じ動物を、次のア～エから選びなさい。

ア：ウサギ イ：ライオン ウ：ウシ エ：シカ

豆知識 雑学コラム

距離感か、広い視野か

いきなりですがゲームをしましょう。まず両目を開けたまま、「前に習え！」の姿勢で両手の人差し指どうしを合わせてみましょう。「せーの」で、人差し指同士をくっつけて指が当たればOKです。両目を開けているときは、指の先端を簡単に合わせることができますね。

次に目を数秒閉じた後、片目を開け同じことをしてみましょう。当たりましたか？ 今回はうまくいかなかった人が多いのでは？ (当たった人はすごい!!) 片目になると、距離感がつかみにくいために、両目で試したときよりも、うまく合わせることができにくくなりました。左右の目で見たものは、脳に伝わって合体されて、遠近感や立体感を感じることができ、これを融像ゆうそうと言います。

ライオンなどの肉食動物が獲物を捕まえるためには、正確な距離感が大切になります。二つの目が前につくことで、立体的に見える視野が広くなり、距離感がつかみやすくなります。一方、シマウマなどの草食動物は、肉食動物から身を守る為、より広い範囲を見ることが必要になります。二つの目が左右についていることにより、なんと300°以上見ることができます。周りのほとんどの景色が見えるので、外敵に気づきやすくなり逃げられるのです。

私は友人と話していると、たまに「？」と反応を返されることがあります。心の距離感がつかめてないからでしょうか？ 決して心が前向きになっていない訳ではありません(笑)。

【解答】

(1) A (2) A (3) B (肉食動物) B: 草食動物